



やまべ



令和8年
3月2日発行
第11号

151年の歩みに感謝し、未来へつなぐ山部っ子の誇り

校長 大貫 弘敏

早春の候、地域の皆さま、保護者の皆さまには、これまで本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。やわらかな陽ざしに春の訪れを感じるこの3月、山部小学校はいよいよ151年の歴史に幕を下ろす最後のひと月を迎えました。

本校は創立以来、「ふるさと山部を愛し 心豊かにたくましく生きる 山部っ子の育成」を教育目標に掲げ、地域とともに歩み続けてまいりました。自然の恵み、人の温かさ、受け継がれてきた文化に包まれながら、子どもたちは自らのふるさとを誇りに思い、仲間とともに学び合い、心を通わせながら成長してきました。その営みが151年間途切れることなく続いてきたことに、改めて深い感慨を覚えます。

今年度、最後の「山部っ子」として学んだ子どもたちは、まさに教育目標を体現する姿を見せてくれました。2月21日に開催された「日立市青少年健全育成のための市民の集い」では、全校児童による「山部ソーラン」を堂々と披露し、多くの市民の皆さまから大きな拍手をいただきました。地域とともに育ち、山部を愛する心を胸に踊る子どもたちの姿は、参観された方々の心を強く打ち、その郷土愛の深さを誇らしく感じるひとときとなりました。山部で育まれた誇りと力強さが、次の時代、次の世代へと確かに受け継がれていることを実感いたしました。

日々の学びにおいても、子どもたちは自分の思いをまっすぐに表現し、互いを尊重しながら挑戦を重ねています。閉校を前にしても、前向きに学び続けるその姿には、山部で育った子どもたちならではのたくましさや優しさがあふれ、私たち教職員も幾度となく胸を熱くしてまいりました。

これまで本校が歩いてこられたのは、地域・保護者の皆さまが、常に子どもたちの成長を願い、学校を温かく支えてくださったおかげです。行事へのご協力、学習活動へのご参加、日々の見守りなど、数え切れないほどのご支援が、山部小学校の教育を豊かにし、子どもたちの心を育てていただきました。深く感謝申し上げます。

3月23日には「山部小学校閉校式」を挙行いたします。長い歴史とともに刻んできた学び舎との別れを、児童・保護者・地域の皆さま、そして山部小学校にゆかりのあるすべての方々と分かち合う大切な時間となります。どうか最後まで、山部小学校の歩みを温かく見届けていただければ幸甚に存じます。

学び舎は変わっても、山部で育った誇りや優しさ、地域を思う心は、これからも子どもたちの中で揺るぎない“軸”として生き続けます。残された日々が、子どもたちにとってかけがえのない記憶となるよう、教職員一同、最後まで誠意をもって教育活動に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

山部小で学ぶ「山部っ子」の生き生きした姿をぜひご覧ください。
引き続き山部っ子に応援いただけますよう、よろしく願いいたします。

学校ホームページ <https://hitachi-yamabe-e.edumap.jp/>

